表Ⅰ.1.1　通信省告示第1号（標準電波発射方法）

官報 第三八九七號 昭和十五年一月六日 土曜日

◎通信省告示第一號

昭和十五年一月三十日ヨリ左記ニ依リ標準電波ヲ發射ス

昭和十五年一月六日

逓信大臣　永井柳太郎

一　機器製造場所　千葉市檢見川町　東京都市逓信局檢見川分室

二　空中線電力　五「キロワット」

三　發射電波

(一)　發射電波ハ左ノ二種トス

標準搬送電波　周波數標準器ヨリ發生スル周波數ヲ適當ニ倍ニシテ得タルモノ

標準變調電波　前號ニ依リ得タル電波ヲ標準周波數ヲ以テ變調シタルモノ

(二)　發射周波數ハ左ノ通トス

電波ノ型式	周波數		呼出符號
搬送周波數			
標準搬送電波	四〇〇〇kc		JJY
	七〇〇〇kc		JJY2
	九〇〇〇kc		JJY3
	一三〇〇〇kc		JJY4
標準變調電波	四〇〇〇kc	一kc	
	七〇〇〇kc	一kc	
	九〇〇〇kc	一kc	標準搬送電波ノ場合ニ同ジ
	一三〇〇〇kc	一kc	

四　發射電波ノ強度　約百萬分ノ一

五　發射日時　標準搬送電波ハ毎週火曜日、標準變調電波ハ毎週金曜日左記時間中之ヲ發射ス

但シ祝祭日ヲ除ク

發射時間	周波數
自午前十一時三十分至正午	九〇〇〇kc（自一月一日至四月及自九月一日至一二月）
自午後一時至午後一時三十分	一三〇〇〇kc（自五月至八月）
自午後二時至午後二時三十分	七〇〇〇kc
自午後三時至午後三時三十分	四〇〇〇kc
自午後七時至午後七時三十分	九〇〇〇kc（自一月一日至四月及自九月一日至一二月） 一三〇〇〇kc（自五月至八月）
自午後八時至午後八時三十分	七〇〇〇kc
自午後九時至午後九時三十分	四〇〇〇kc

六　發射ノ方法　左ノ開始符號ニ引續キ約九分間標準電波ヲ發射シ發射時間中之ヲ繰返スモノトス

(一)　探呼符號（CQ）　三回

(二)　前置符號（DE）　一回

(三)　呼出符號　三回

(四)　STD　或RECQナル符號　一回

(五)　――・・・――　ナル符號　一回

標準電波ヲ發射シ假ザルトキハ開始符號ニ引續キ短點ヲ連送ス

七　發射周波數ノ修正　標準電波ノ周波數ノ概略修正値ハ次回發射日ノ電波發射時間ニ於ケル發射終了後引續キ左ノ順序ニ依リ之ヲ放送ス

(一)　探呼符號（CQ）　三回

(二)　前置符號（DE）　一回

(三)　呼出符號　三回

(四)　CORナル符號　一回

(五)　修正スベキ標準電波ノ發射日時　三回

(六)　概略修正値　一回

(七)　通信終了符號　一回

標準電波ノ發射日時及概略修正値ハ左ノ例ニ依ル

(イ)　發射日ハ數字二個ヲ以テ示ス

(ロ)　發射時間ハ二十四時制ニ依リ數字四個ヲ以テ示ス

(ハ)　概略修正値ハ公表周波數ニ對スル發射周波數ノ偏差ヲ以テ示ス　但シ發射周波數ノリ文字及數字ヲ以テ示ス　標準變調電波ハ變調周波數ノ偏差ヲ左ノ例ニ依リ文字及數字ヲ以テ示ス　但シ發射周波數ノ修正ヲ要セズト認ムル場合ハONナル數字ヲ、發射電波皆好ナラズト認ムル場合ハMISナル文字ヲ以テ之ニ代フルモノトス

發射周波數	公表周波數ヨリ高キ場合及數値	公表周波數ヨリ低キ場合及數値
公表周波數ヨリ高キ場合及數値	數値ハ百萬分ノ一ヲ單位トシ數字一個ヲ以テ示ス	

例

01　FM　1400　+0　1430　H9

一日午後二時ヨリ午後二時三十分迄ノ發射周波數ハ公表周波數ヨリ百萬分ノ二高シ